

平成28年度評価 評価結果の総括

平成29年2月13日

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業委員会

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）は、平成25年度から「地域のための大学」として、各大学の強みを生かしつつ、大学の機能別分化を推進し、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」を発展させ、平成27年度からCOC+として地方公共団体や企業等と協働して学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することを目的として実施されている。

COC+に選定された各事業は大学COC事業の取組内容を包含していることから、平成25年度に51件、平成26年度に25件、それぞれ大学COC事業として選定された事業についても併せて評価することにより、COC+を効果的に実施していく上で参考とするために平成28年度評価を実施した。

平成28年度評価の評価結果は、「S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。」が7件、「A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。」が40件、「B：一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。」が23件、「C：取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、事業計画の抜本的な見直しが必要である。」が6件である。

計画どおり順調に進捗している例として、以下のとおり本事業による成果が見受けられる。

- ・教育・研究・社会貢献にわたる目標の達成に向けた取組に加え、多くの事業において地域志向科目の全学必修化に向けた取組も見られる。
- ・教育カリキュラム改革を含む事業目標達成のための各種取組においては、学生及び教職員に対するアンケートが実施され、取組の成果と関係者の意識の変化を把握するとともに、本事業の意義の周知を図る試みが見られる。
- ・自治体等との連携・評価においては、自治体等の職員が授業に参加するなど連携関係の強化が進んでいる。
- ・実施体制や事業の継続・発展及び平成27年度の取組と今後の見通しにおいては、当初計画を超えた地元企業や他大学との連携など、COC+への接続を見据えた取組が見られる。

一方で、以下のとおり計画の見直しが求められる点も見受けられる。

- ・目標達成が危ぶまれる点
- ・学長によるリーダーシップ等の学内の実施体制や外部評価の仕組みが明確でない点
- ・地域志向の教育研究での成果を人材育成へ結びつける過程が不十分である点

今後、社会が急激に変化する中で持続的な成長と発展を築くため、大学等には主体的に考える力を持ち、社会の様々な課題を解決に導く多様な人材を養成することが求められている。そのため、事業を実施する大学等においては、今回の平成28年度評価で示された課題の解決に向けて対応するとともに、COC+大学であるか参加校であるかを問わず、COC+への展開を見据えて着実に事業を進展させた上で、事業の成果を広く他大学や自治体、企業等へ波及・還元させることを期待する。

**地(知)の拠点大学による地方創生推進事業
平成28年度評価 評価結果一覧**

区分	評価基準	平成25年度 選定事業		平成26年度 選定事業		合計	
		件	割合	件	割合	件	割合
S	計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。	7	13.7%	0	0.0%	7	9.2%
A	計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。	26	51.0%	14	56.0%	40	52.6%
B	一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組があり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。	12	23.5%	11	44.0%	23	30.3%
C	取組に遅れが見られるなど、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、事業計画の抜本的な見直しが必要である。	6	11.8%	0	0.0%	6	7.9%
D	現在までの進捗状況に鑑み、本事業の目的を達成できる見通しがないと思われるため、採択事業への財政支援を中止することが必要である。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	51	100%	25	100%	76	100%

小数点第2位を四捨五入

【平成25年度選定事業】

S: 計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	大学等名称	設置区分	事業名称
8	千葉大学	国立	クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学
11	信州大学	国立	信州を未来へつなぐ、人材育成と課題解決拠点「信州アカデミア」
12	岐阜大学	国立	ぎふ清流の国、地×知の拠点創成:地域にとけこむ大学
18	高知大学	国立	高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)化事業
27	兵庫県立大学	公立	ひょうご・地(知)の五国豊穰イニシアティブ
31	大分県立看護科学大学	公立	看護学生による予防的家庭訪問実習を通じた地域のまちづくり事業
42	園田学園女子大学	私立	<地域>と<大学>をつなぐ経験値教育プログラム

A: 計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	大学等名称	設置区分	事業名称
1	小樽商科大学	国立	地域と共創する北海道経済活性化モデルと人材育成
2	岩手大学	国立	地域と創る”いわて協創人材育成+地元定着”プロジェクト
5	山形大学	国立	自立分散型(地域)社会システムを構築し、運営する人材の育成
6	福島大学	国立	原子力災害からの地域再生をめざす「ふくしま未来学」の展開
9	金沢大学	国立	地域の感性を備えた人材を育て社会を繋ぐ「地(知)」の拠点
10	福井大学	国立	地域を志向して人を育み、地域を活かす福井の知の拠点づくり
15	島根大学	国立	課題解決型教育(PBL)による地域協創型人材養成
19	宮崎大学	国立	食と健康を基軸とした宮崎地域志向型一貫教育による人材育成事業
21	札幌市立大学	公立	ウェルネス×協奏型地域社会の担い手育成「学び舎」事業
22	横浜市立大学	公立	環境未来都市構想推進を目的とした地域人材開発・拠点づくり事業
23	富山県立大学	公立	「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築
24	山梨県立大学	公立	課題解決プロセスと未来思考の対話による実践型カリキュラム構築
26	神戸市看護大学	公立	地域住民と共に学び、共に創るコミュニティケアの拠点づくり
29	山口県立大学	公立	「知の融合」と「異世代交流」による地域活力の創生
30	長崎県立大学	公立	長崎のしまに学ぶ ー つながる とき・ひと・もの ー
32	東北公益文科大学	私立	地域力結集による人材育成と複合型課題の解決ー庄内モデルの発信
34	東海大学	私立	To-Collaboプログラムによる全国連動型地域連携の提案
35	杏林大学	私立	新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点
36	芝浦工業大学	私立	「まちづくり」「ものづくり」を通じた人材育成推進事業
38	金沢工業大学	私立	地域志向「教育改革」による人材育成イノベーションの実践
40	名古屋学院大学	私立	「地域の質」を高める「地」域連携・「知」識還元型まち育て事業
44	広島修道大学	私立	イノベーション・ブリッジによるひろしま未来協創プロジェクト
45	聖徳大学短期大学部	私立	信頼と共感でつなぐ“ふるさと松戸”づくりー多主体間協働でー
48	京都工芸繊維大学 舞鶴工業高等専門学校	国立 国立	京都の産業・文化芸術拠点形成とK16プロジェクト
50	島根県立大学 島根県立大学短期大学部	公立 公立	地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム
51	佐賀大学 西九州大学	国立 私立	コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プロジェクト

B:一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	大学等名称	設置区分	事業名称
3	宮城教育大学	国立	宮城協働モデルによる次世代型教育の開発・普及
14	鳥取大学	国立	知の発展的循環プロセスの構築による地域拠点整備事業
17	香川大学	国立	自治体連携による瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備
20	琉球大学	国立	ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)
25	滋賀県立大学	公立	びわ湖ナレッジ・コモンズー地と知の共育・共創自立圏の形成ー
28	奈良県立大学	公立	地学連携と学習コモンズシステムによる地域人材の育成と地域再生
33	高崎商科大学	私立	「地と知から(価)値」を創出する地域密着型大学を目指して
37	長岡大学	私立	長岡地域<創造人材>養成プログラム
39	松本大学	私立	地域社会の新たな地平を拓く牽引力、松本大学
41	中部大学	私立	春日井市における世代間交流による地域活性化・学生共育事業
46	和歌山信愛女子短期大学	私立	子育て支援を主軸とした地(知)の拠点事業『きょう育の和』
49	大阪市立大学・ 大阪府立大学	公立 公立	大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践

C:取組に遅れが見られるなど、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには、当初計画に基づく目標の早急な達成や事業規模の縮小等に向け、事業計画の抜本的な見直しが必要である。

整理番号	大学等名称	設置区分	事業名称
4	秋田大学	国立	一人ひとりを大切に、自立した高齢社会に向けた地域づくり
7	宇都宮大学	国立	とちぎ高齢者共生社会を支える異世代との協働による人材育成
13	京都大学	国立	KYOTO未来創造拠点整備事業ー社会変革期を担う人材育成
16	広島大学	国立	平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点
43	吉備国際大学	私立	だれもが役割のある生きいきした地域の創成
47	広島商船高等専門学校	国立	離島の知の拠点形成ー離島高専の教育研究と離島の振興・活性化ー

【平成26年度選定事業】

A: 計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	大学等名称	設置区分	事業名称
52	弘前大学	国立	青森ブランドの価値を創る地域人財の育成
53	茨城大学	国立	茨城と向き合い、地域の未来づくりに参画できる人材の育成事業
54	山梨大学	国立	山梨ブランドの食と美しい里づくりに向けた実践的人材の育成
55	愛媛大学	国立	地域の未来をステークホルダーと共に創る実践的人材の育成
56	熊本大学	国立	活力ある地域社会を共に創る火の国人材育成事業
59	熊本県立大学	公立	『もやいすと』育成と産官学民の対話と協働で拓く地域の未来
60	稚内北星学園大学	私立	地域の教育力向上とまちづくりで協働する地(知)の拠点整備
61	東北学院大学	私立	地域共生教育による持続的な「ひと」づくり「まち」づくり
66	千葉科学大学	私立	防災・郷土教育を積み上げた、人に優しく安心して住める地域創り
67	日本福祉大学	私立	持続可能な「ふくし社会」を担う「ふくし・マイスター」の養成
68	皇學館大学	私立	『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムによる地域人材育成
70	京都文教大学	私立	京都府南部地域ともいき(共生)キャンパスで育てる地域人材
72	西日本工業大学	私立	工学とデザインの融合による人を育て地域を拓く拠点づくり事業
73	日本文理大学	私立	豊かな心と専門的課題解決力を持つおおいた地域創生人材の育成

B: 一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	大学等名称	設置区分	事業名称
57	鹿児島大学	国立	火山と島嶼を有する鹿児島の地域再生プログラム
58	静岡県立大学	公立	ふじのくに「からだ・こころ・地域」の健康を担う人材育成拠点
62	東北工業大学	私立	オールせんだいライフデザイン実践教育共創事業
63	東北芸術工科大学	私立	創造力と想像力による地域課題解決人材育成と地域新価値創造事業
64	共愛学園前橋国際大学	私立	地学一体化加速プロジェクト: 持続的「地(知)の拠点」創成へ
65	十文字学園女子大学	私立	新座市をキャンパスに! +(プラス)になる人づくり、街づくり
69	四日市大学	私立	産業と環境の調和をめざす四日市における人材育成と大学改革
71	四国大学	私立	とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業
74	今治明德短期大学	私立	しまなみの生活と文化を守り育てる人づくり・つながりづくり
75	八戸工業高等専門学校	国立	青森の資源や人財のコンピテンシー育成拠点プログラム
76	くらしき作陽大学・倉敷芸術科学大学	私立 私立	文化産業都市倉敷の未来を拓く若衆育成と大学連携モデル創出事業